

平成19年度 丹後広域振興局 運営目標達成状況

中期ビジョン	行政経営		
事項 1	管内市町、府民との連携強化による行政経営の推進		
運営目標	評価		: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	市町村未来づくり交付金（地域力再生推進枠）を活用し、振興局の職員が地域住民とともに活動する地域力再生モデル的事業を実施していきます。		地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用し、管内45団体の活動を支援。管内公所を含む横断的組織として「地域力再生プロジェクト会議」を設置・運営し、またヒアリングも市町と協働で行うなどの工夫を凝らし、その結果、不採択団体についてもフォローアップするなど、従来の補助金事務にはない取組を展開
運営目標	評価		: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	管内2市2町との情報共有と連携を強化するため、管内市町長、副市長・副町長との意見交換会を年4回以上開催するとともに、課長、職員レベルでも連携を密にし、地域課題に対応していきます。		管内副市長・副町長会2回開催、広域市町村圏事務組合理事会に局長が2回出席し、管内市町長と意見交換等実施 管内市町村等対象の起債説明会のほか、管内2市2町の来年度の京都府予算要望に係る意見交換会開催
運営目標	評価		: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	丹後活動プランに基づく事業を府民の意見を踏まえて拡充していくために、振興局のホームページ等により、府民に多面的な情報提供を行うとともに、「たんご活動プランニュース」を年2回（全戸配布）、たんご活動プランニュースレターを年2回発行します。		保健所、土木事務所などを中心に地域戦略推進事業、各所管事業を振興局のホームページ等で情報発信を強化 地域戦略事業等の取組を知らせる「たんご活動プランニュース」を12月と3月に発行、たんご活動プランニュースレターを3月に発行

地域振興計画	観光振興と交流・定住の促進		
事項 1	多様な資源を活用した新たな観光・交流・定住施策の展開		
運営目標	評価		: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	丹後広域観光キャンペーン協議会と連携し「私のふるさと丹後」を目指した新たな観光戦略事業を積極的に展開します。 ・観光入込者数目標 600万人 ・「丹後ふるさと検定」の実施（受検者100人以上）		全体の観光入込客数は現時点では未集計 GW期間中は、微減（対前年比95%）、夏期の主要地点は、海水浴客、高原施設は微増（対前年比海水浴客109%、高原施設113%）、酷暑による出控え等により、観光施設は減少（対前年比97%）

主に丹後地域の人々（特に観光関連事業者等）が地域の魅力を再発見するための学習機会を提供し、観光ガイドの育成や地域のもてなし意識を向上。

検定用教材の発行：平成19年6月～、セミナーの実施：第2回6月8日、第3回9月14日、検定日：10月14日

検定合格者を丹後観光口コミ大使（仮称）として組織化しPR活動を強化

- ・大都市圏（東京、大阪）で大手旅行会社、マスコミ、丹後観光大使を対象に観光資源のPRとともにトリガイ、アワビなどの海産物、農産物、加工食品の試飲試食会、丹後ちりめんなどの丹後特産品の展示会を実施
- ・中国、韓国、台湾、香港などの旅行会社を対象とした丹後案内ツアーの実施及び観光関連団体を対象とした中国語講座の開催
- ・地域資源を広く紹介する新たな観光案内テープの作成、トレインデザインコンペの実施など、KTRと連携した新たな観光魅力づくりの実施
- ・「丹後学講座」の開催（京都市内）と「探訪の旅」の実施による学び観光の推進
- ・丹後の食材を活かした料理コンテストの開催など、四季を通じた丹後の魅力ある食の開発
- ・漁船クルージング等、テーマ性、趣味性の高い丹後独自のツアーコースの開拓
- ・丹後天橋立大江山国定公園の新規指定、琴引浜の国の天然記念物及び名勝の新規指定について、市町、NPO等と連携してPRを実施

「丹後ふるさと検定」実施、100名受験。検定用テキストブック「丹後新風土記」2千部発行（完売）、検定向けセミナー200名以上受講、検定合格者に「合格証」、「ピンバッジ」を交付、「丹後観光口コミ大使」として観光ガイド等の組織化検定中

「丹後PRフェアin東京」（6月）、「丹後PRフェアin大阪」（カニフォーラム、情報交換会：11月）開催、丹後食材等をPR

韓国の旅行会社等を招聘、観光施設の案内と商談会開催（8月）、台湾及び中国の旅行会社等を招聘、観光PRと商談会実施（10月）

丹後地域職業訓練センターと連携し「中国語接遇講座」開催（6月）KTRとの連携で「乗ってみたいくなるトレイン・デザインコンペ」

実施（219点応募）最優秀作品のペインティング車両が運行（3月）丹後の海の幸を活かしたメニューの開発に向けて、「丹後の食を考える女将さんのつどい」（7月、約30名参加）、「食開発検討会」（8月）を開催、食による観光開発の可能性を検討

漁獲高日本一になった「鯖」とブランド化を推進している「黒アワビ」をカニ、トリガイ、イワガキに続く、集客力のある食材としての活用を検討するため「鯖漁獲量日本一フェスティバル～丹後の食づくり検討会」を開催（10月）約100名参加

「漁船クルージング」を実施（6月～7月）、45名利用。「漁港めし」は901人利用（前年比倍増）

漁船を利用した湾内の移動と漁船による伊根湾遊覧船「伊根湾シータクシー事業」がスタート

国定公園の新規指定や「琴引浜」の名勝等の指定をPRするため、関係市町、観光協会等と連携し、京都駅前広場で観光誘客キャンペーン実施（7月）。季刊情報誌「食遊楽里」（秋号）でもPR（発行部数約7万部）

新幹線グリーン車内搭載誌「ひととき」（11月号）東急全線の車内広告（11月～12月）への掲載等でPR

丹後の豊かな自然の魅力を観光客に伝え、地域の魅力づくりを進めるため、「丹後ネイチャーガイド養成講座」開催、27人養成

運営目標

評価

：目標を上回って達成

：概ね目標を達成した

×：目標を十分達成できなかった

取組及び

達成状況

丹後地域内の企業、商工観光団体、府、市町が一体となって結成した「丹後きものネット」を中心に、昨年に引き続き、ゆかた、きものを楽しむ日、月間を設定し、和装のPRとともに、観光資源の創出を図り、和装振興と観光産業を活性化します。

- ・きものパスポートマップの作成などの取組に加えて、次の取組を実施。他府県からきものを楽しむツアーの実施、きもの古着市とともに「古着を洋服にリサイクルするコーナー」、「丹後で織り、染め、仕立てを行った「丹後丸ごときもの市」」を実施、地域で行うきものを着用したイベントを倍増（6箇所、目標12箇所）

着物、ゆかたの日・月間、「丹後きものクイーン」の任命（5名）等と和装振興に向けたPRを実施

きものを楽しむツアーは最小催行人数に満たず中止。着物イベントは9事業実施

運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
	取組及び達成状況	<p>「期間定住」や「定住」への円滑な移行を促進するために、定住希望者の多様なニーズに応じて「地域の魅力」を総合的に提供する経営体を検討し、「農のある暮らし百貨店」づくりに着手します。丹後の多様な地域資源を活用して作る「商品」を対価をもって都市住民に提供する、「農のある暮らし百貨店」づくり事業によるモデル地域（1地域）を設定し、経営体づくり委員会を開催（3回） 地域資源の商品化（商品づくり数10）</p>			<p>京丹後市大宮町にモデル地域を設定、経営体づくり委員会4回開催 地域資源を活用した10個の商品完成（秋まつりと食の体験、夜の鹿鑑賞ツアーなど）</p>
運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
	取組及び達成状況	<p>伊根町筒川地区で、「農のあるライフスタイル実現プロジェクト」推進事業による都市部と農村部の交流を拡大します。むらづくり委員会の主体的活動強化 委員会主催による座談会・交流会の開催により、地域への波及。（地域ビジョン策定に向けた交流会：1集落、定住希望者との交流受け入れ：2集落、情報紙の発行：4回以上） 空き家情報登録のシステムづくり 定住者受け入れルールのできる集落 2集落</p>			<p>むらづくり委員会が主体となり、田舎暮らし体験会4回開催、定住者受け入れビジョンの策定、情報誌を7回発行 空き家情報登録システムを町役場内に開設 定住者受け入れルールが1集落で完成。交流会を契機として筒川地区に1家族4名の定住が決定</p> <p>【 で終了】</p>

地域振興計画		農林水産業の振興			
事項 1		地域の特色を引き出す農林水産業の振興			
運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
	取組及び達成状況	<p>丹後国営開発農地で新しい茶の産地づくり（総植栽面積40～50ha）に向けて、次の事業を実施します。 ・製茶工場建設計画の策定支援（年内策定予定） ・新規茶植栽面積10ha（現在30ha 40ha） ・生育不良茶園の約1/6（約1ha）の改善</p>			<p>建設計画・運営計画検討会の開催など、京丹後市と連携し製茶工場建設計画の策定を支援し、20年度着工に向けての計画を策定 茶の植栽を希望する農家の予定地調査等を行い、9.8haの新規植栽が実施。茶園面積は40haに拡大 生育不良茶園6haにおいて生産農家に対して土壌改善等の指導を行い、0.4haの茶園から順次改善。さらに、病害虫発生地においては生育防除対策の実証試験や順調な茶の生育に向けた指導を実施</p>
運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
	取組及び	「丹後コシヒカリの里づくり推進事業」により、将来を見据え、			経営戦略づくり等延べ9集落で実施

達成状況	集落にあった営農体制の充実と経営安定のための経営戦略づくりを行います。 ・経営戦略づくり等延べ8集落で実施		モデル集落2集落で法人化に向けて合意形成（森本、岩木）2集落で役員段階での方向性を確認（金山小香河、甲山） 水稻以外の作物として小豆の集団的導入を実施（森本、甲山） 集落で焼酎づくりや加工品・直売活動等の検討するなど集落独自の取組を開始（岩木、金山小香河、甲山） 良食味のための疎植栽培技術、ゾーニングによる計画的な水稻栽培、特栽米等の取組みが定着
運営目標 取組及び達成状況	評価 ×	: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった	みず菜をはじめとした地域にあったブランド京野菜の生産振興を進め、出荷量の増加を目指します。 ・目標出荷量：単位t、()は平成18年度実績 みず菜497(453) 九条ねぎ48(45) 聖護院だいこん47(23)など JAと連携して品目別生産計画を策定し、目標達成に向けての種々の取組を実施（みず菜生産者研修会の開催、九条ねぎの重点推進地区の設定、聖護院大根の安定生産試験・消費動向調査等） 生産実績（3月末）みず菜441t、九条ねぎ44t、聖護院だいこん21t（生産減の要因は、夏季の暑さ等のため）
運営目標 取組及び達成状況	評価 	: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった	エコファーマーのネットワーク化により、生産者と消費者が一体となった取組を支援し、環境に優しい農林水産物の生産と地域の中心的な担い手を支援します。 ・エコファーマーによる流通・消費現場のニーズ調査（1回）流通業者・消費者による生産現場ツアー（1回）エコファーマー、流通業者、消費者のワークショップ（1回）など 流通業者・消費者による生産現場ツアーを1回開催 エコファーマーによる流通・消費現場のニーズ調査やエコファーマー・流通業者・消費者のワークショップを1回開催 【 で終了】
運営目標 取組及び達成状況	評価 	: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった	新規就農者の確保及び経営改善、高齢者等を対象とした農業支援、集落営農組織の育成などにより、担い手と後継者を育成していきます。 ・新たな個別経営体法人化の設立 1法人 ・設立直後の集落営農型法人の支援 1法人 ・農業基礎講座8回。終了時に10名以上の営農者を確保 新たな個別経営体法人 1法人設立（越江農産） 設立直後の集落営農型法人の支援を実施 1法人（あぐり鹿野） 農業基礎講座を8回開催、受講者から12名が農業に従事
運営目標 取組及び達成状況	評価 	: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった	観光産業等と連携した農産物直売所を支援し、新たな販売チャネルの開拓を行います。 ・加工・直売セミナーの実施4回、出張セミナーの実施3回 ・京丹後市直売組織による合同市の開催1回 ・新商品の開発、食育活動の実施等によるモデル直売・加工組織の育成4カ所 加工・直売セミナーを4回、出張セミナーを5回実施、延べ300名参加 宮津市と京丹後市で直売組織による合同市を2回開催 4組織のモデル直売・加工組織を育成

運営目標	評価		：目標を上回って達成	：概ね目標を達成した	×：目標を十分達成できなかった
	取組及び達成状況	<p>丹後産水産物のイメージアップと付加価値向上のためのブランド化と生産体制の強化・安定供給をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリガイ、イワガキの販売促進会議（4月、9月）開催。丹後水産物利用拡大キャンペーンの実施 ・磯根資源を活用したつくり育てる漁業の振興と地域特産品の育成 宮津市栗田地区での養殖とり貝の生産拡大（受入種苗数7万個、生産目標額8百万円） ・担い手の確保・育成 漁業技術講習会等の開催（2回） 	<p>丹後とり貝及び育成イワガキの販売促進会議4回開催。出荷方法や効果的な情報発信などを検討</p> <p>PR資材の作成・配布など出荷に合わせた精力的なPR活動を実施</p> <p>市、丹後広域観光キャンペーン協議会、漁業者団体等と連携したイベント、丹後水産物の食材提供や試食会などのPR活動等を実施</p> <p>舞鶴市や宮津市の旅館・ホテル・料理飲食店等で、「丹後とり貝」と「イワガキ」を利用した料理を提供しキャンペーン等を実施（宮津市内で14,000個のトリガイ使用）</p> <p>宮津市栗田地区で7～8月に丹後とり貝種苗7.2万個を受入れ、育成開始＜今年度の丹後とり貝販売額は約6百万円＞</p> <p>磯根漁業者を対象にしたアビ栽培漁業に関する研修会を7月に開催</p> <p>貝類養殖業者を対象にした漁業養殖業技術経営研修会を3月に開催</p>		

地域振興計画	織物、機械金属等地域産業の振興				
事項 1	地場産業の振興と新分野・新産業の創出による地域経済の活性化				
運営目標	評価		：目標を上回って達成	：概ね目標を達成した	×：目標を十分達成できなかった
	取組及び達成状況	<p>丹後織物の地域ブランドを生かした売れる商品づくりを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材を使い分け、現代的で割安な和装生地「KIMONOゆうゆう」と環境にやさしく高機能な洋装生地「ロハスなTANGO」を20点以上開発 ・デザイナー等専門家とのコラボレーションにより、4グループ24企業で和洋装地・生活関連商品の新商品開発力と企画力を強化し、販路を開拓 	<p>和装関係：現代的な紋のデザインの交織生地を5テーマ21点開発。洋装関係：環境に優しく高機能な生地を5テーマ30点開発</p> <p>丹後織物求評会等で展示発表 和装品：6機業へ14点、洋装品：3機業へ23点技術移転</p> <p>和装、洋装、生活関連用品の新商品開発・販路開拓を4グループ27機業（実21機業）で実施、東京、京阪神で展示発表</p> <p>和装グループ 8機業 22点新商品発表（京都市 来場者332名）</p> <p>グループ 6機業 11点新作発表（京丹後市 来場者1,194名）</p> <p>洋装グループ 7機業 132点新作発表（神戸市 来場者181名）</p> <p>グループ 6機業 6点新作発表（東京キッショ-出展200名来店）</p> <p>年度の各グループ・機業における商談件数は385件。さらに販路拡大を継続実施中</p>		
運営目標	評価		：目標を上回って達成	：概ね目標を達成した	×：目標を十分達成できなかった
	取組及び達成状況	<p>織物・機械金属振興センターにおいて、人材育成を柱に技術の伝承と高度化に向けた取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後機業の後継者4人以上育成 	<p>丹後織物ひとづくりコースで織物の技術・技法をはじめ、品質管理、商品設計に至る15コースを設定し丹後機業の後継者等24人育成</p>		

		・機械金属業に係る試作開発技術者4人以上養成	・機械金属業に係る試作開発技術者を4人養成(北部ものづくり塾9回) ・電装品等ユニット装置等の試作開発技術者を6人養成(シーケンス制御 PLC制御応用コース4回) ・その他、技術の高度化に向けて、就業者を対象とした技術習得研修を実施し、延べ総数169人参加 溶接技術講習会(6回延べ37人)、金属熱処理技術基礎研修(5回延べ29人)、機械加工技術セミナー(3回延べ59人)、金属加工技術セミナー(1回24人)、シーケンス制御PLC制御基礎コース(計4回延べ20人)
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった	
取組及び達成状況		新事業や地域資源の活用など意欲ある中小企業の支援を強化します。 ・企業訪問や情報提供を強化し、産学公連携や新分野進出等に取り組む企業を2社以上支援 ・消費者との接点拡大とものづくり産業の活性化に向けて、「ええもん工房」づくりに25工房以上参加。海外展開をめざす機業に対しても引き続き支援	京都府元気印中小企業認定制度「研究開発等事業計画」等で2社認定支援 軒先飾り・展示パネル・マップ等の作成や研修会開催等を経て、公募した24工房を10～11月に一般公開、延べ約500人来場 海外展開をめざす機業の取組を支援し、フランスの著名メーカーとの成約実現
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった	
取組及び達成状況		丹後地域の資源を活用した新たな加工食品づくりを実施します。 ・農林水産物を活用した新たな特産品「丹後の旨いもんづくり」を目指し、18年度から支援している加工食品を商品化し、販売開始 京甘藷芋焼酎、ヤーコン(ジャム、アイスクリーム、茶、漬け物)エチゼンクラゲ(惣菜、羊羹、塩クラゲ) ・19年度に新たに支援する食品加工グループを公募し、旨いもんづくり委員会で支援する2つのグループを決定し、平成20年度の商品化に向けて支援	京甘藷芋焼酎「いもたん」の販売開始、売上げ順調。ヤーコン漬物、エチゼンクラゲ惣菜の商品化完了 今年度から新規に海藻漬物、桑の実酒、伸子イカ加工品について3グループで次年度の商品化に向け取組中
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった	
取組及び達成状況		「北部産業活性化拠点・京丹後」の平成19年度後半の一部先行開設に向けて、商工部と連携して取り組みます。	「北部産業活性化拠点・京丹後」の整備については、関係者とともに整備を進め、3月に一部先行開設

地域振興計画	生活・交通等基盤整備の推進
事項 1	地域での生活や活動を支える条件整備と域内外の交流を活発にする基盤の整備

運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
取組及び 達成状況	地域の交流・産業基盤を活性化させる高速交通ネットワークである鳥取豊岡宮津自動車の延伸に向けて着実に事業を実施します。			「宮津野田川道路」宮津6号橋の本体工事完成、第12トンネルは掘削貫通 「野田川大宮道路」墓地移転等の課題があるものの関係自治会との協議が整い、測量・土質調査・設計に着手、関係機関と設計協議中、用地取得作業に一部着手	
運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
取組及び 達成状況	地域や観光地間の連携強化のためネック箇所の解消等を行い、改良の必要性が高く府民要望の高い国道・主要地方道の改良整備、災害や気象条件の変化に強く、歩行者等地域に優しい道路づくりを実施します。 (供用開始予定箇所) 国道178号養老伊根バイパス<部分暫定供用>(伊根トンネル・伊根舟屋高架橋含む) ・国道178号府中道路の暫定供用開始(現道拡幅部の車道を完成) ・浜丹後線(宮津市下世屋) 野田川大宮線(京丹後市大宮町上常吉) ・1.5車線の道路整備により、生活道路12路線を整備			着実に事業を実施 (供用開始箇所) 野田川大宮線(8月)、国道178号養老伊根バイパス(12月暫定供用)、国道178号府中道路(平成20年度現道拡幅部供用開始 目指して事業進捗)、浜丹後線:平成20年度に現道拡幅部の供用開始を目指して事業進捗 (1.5車線の道路整備) 整備路線予定箇所13箇所事業着手済	
運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
取組及び 達成状況	管内の各事業の事業進捗を図るため、用地取得事務の迅速かつ適正な実施に努め、地元関係者に十分説明し理解を得ながら、困難事案については、土地収用も視野に入れて、計画的かつ円滑に事業を実施します。			地権者だけでなく地域全体に手順等を含め、新「用地事務取扱要領」に基づき土地収用も視野に入れながら公共用地取得プロジェクトチームの活用、パンフレット「用地補償のあらまし」等で地元関係者に十分説明し理解を得ながら計画的かつ円滑に事業を実施(参考)公共用地取得プロジェクトチーム取組重点(5件中4件 任意交渉により解決)	
運営目標	評価		: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
取組及び 達成状況	丹後地域における利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて、交通事業者、管内市町及び地域とともに、「改善実行計画」に掲載しているパターンダイヤにより便利な場所へのバス停の移設、植栽事業などの取組を実行していきます。			京丹後市上限200円バスエリア市内全域に拡大、ショッピングセンター(峰山マイン)バス停新設 与謝野町、宮津市で地域公共交通会議が設立	
運営目標	評価	×	: 目標を上回って達成	: 概ね目標を達成した	× : 目標を十分達成できなかった
取組及び 達成状況	北近畿タンゴ鉄道(KTR)の地域での利用客の増加に向け、ノーマイカーデーなどの取組を広げるとともに、丹後広域観光キャンペーン協議会等の関係機関と連携した取組により、地域外からの誘客も進め、年間総輸送人員200万人をめざします。			KTR花いっぱい運動実施(6月久美浜駅・12月峰山駅) サポーターズクラブ会員数3,078人(平成20年3月末現在。(平成19年3月末現在2,232人))	

	また、平成20年度サポーターズクラブ会員1万人達成に向けて、制度の充実（家族会員、3年会員）や会員向け企画、沿線市町によるPRの展開により、会員5,000人をめざします。	
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	<p>地域課題を協働して解決するNPOの活動を支援するため、丹後NPOパートナーシップセンターを育成・交流・連携拠点として強化し、相談体制の充実とNPOの企画公募による行政との協働事業を150人以上の参画を得て実施します。</p>	<p>NPOと行政との交流会等を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会運営委員と管内市町NPO担当者との意見交換会、NPO交流セミナー・講座等6回開催 ・NPOパートナーシップ協働推進事業実施 ・公募団体の中から4団体採択し事業実施 平成20年3月7日現在の協働事業参画者 164人（残り1団体未集計） <p>NPOパートナーシップセンターでNPOなんでも相談事業を運営協議会に委託し実施 パートナーシップセンター利用者数 1,016人（2月末現在）</p> <p>NPOパートナーシップセンター広報誌第5号「TANPOPO」発行（12月）中丹広域振興局との共催で「NPOのための実務講座」、「NPOのための実務相談会」開催</p>

地域振興計画	安心・安全、環境先進の地域づくり	
事項 1	子どもからお年寄りまで安心・安全で元気に暮らせる地域づくりと環境先進地をめざす地域づくりの推進	
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	<p>災害箇所の復旧事業の早期完了と災害予防事業を着実に実施していきます。</p> <p><平成16年台風災害関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手川：第1工区で護岸整備を本格的に実施。第2工区で橋梁、水路工事を実施。第3工区で橋梁改築工事を実施。用地買収を完了し、平成21年度完成をめざす ・野田川：災害助成事業の全区間年度内完成 ・滝馬地区は、残りの砂防堰堤2基、流路工を完成 ・農地農業用施設、林道、林地崩壊地の復旧完了及び造林地災害の平成20年度完了に向けて着実な事業実施 <p><平成18年7月豪雨災害></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧工事の年度内完了 ・間人地区（京丹後市丹後町）：出水期までに主要構造物完了、年度内に全て完了 ・国道178号（宮津市岩ヶ鼻）法面崩壊復旧工事：完了 	<p><平成16年台風災害関連></p> <p>「大手川」</p> <p>第1工区：河口～大手橋の約400m（両岸）9月末完成、大手橋～京口橋の左岸護岸低水部2月末完成、右岸の矢板護岸部発注済。</p> <p>第2工区：橋梁 - 10月～3月に7橋の下部工など発注、水路工事概ね完了</p> <p>第3工区：橋梁 - 1橋9月末完成、1橋2月末完成。護岸工約250m発注済</p> <p>用地買収：1月末で基本計画部分については完了</p> <p>「野田川」平成20年3月全工区完成</p> <p>「滝馬地区」5溪流の内4溪流の砂防ダム本体工完了。残り1溪流は用地買収完了し工事着手済</p> <p>「農林関係施設」農地農業用施設、林道、林地崩壊地、造林地災害の復旧完了</p> <p><平成18年7月豪雨災害の復旧状況></p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・農林関係施設の年度内復旧完了 <p><平成19年1月冬季暴風波浪災害></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林関係施設の全体事業費の40%を発注 <p><災害予防等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における孤立集落の解消を図るため、防災対策事業等に着手（宮津市日置～長江間・伊根町蒲入～京丹後市丹後町袖志間の2箇所） ・水害に強い安定した基盤整備及び道路交通の確保のため氾濫の多い主な河川ネック箇所の解消と河川改修等を実施。福田川<用地買収・工事等>川上谷川<用地買収等>鳥取川<測量・設計等>俵野川<工事等>佐濃谷川<測量・設計等> ・新規に避難対策施設整備事業で避難場所や避難路の土石災害からの保全事業を実施 	<p>河川で2箇所の繰越。それ以外については全て復旧済 「間人地区」間人災害関連緊急地すべり事業 平成20年3月完成 「国道178号（宮津市岩ヶ鼻）」復旧工事完了</p> <p><平成19年1月冬季暴風波浪災害> 農林関係施設の全体事業費の84%を発注</p> <p><災害予防等> 「災害時における孤立集落の解消を図るため、防災対策事業等」 2箇所の計画的着手済（宮津市日置～長江間）今年度設計及び用地買収に着手、（伊根町蒲入～京丹後市丹後町袖志）今年度事業進捗率（3月末）約30% 「河川ネック箇所の解消と河川改修等」今年度事業進捗率（3月末） 福田川：約67% - 用地交渉継続中、川上谷川：約14% - 用地交渉継続中・橋爪橋下部工着手、鳥取川：約15% - 計画の地元協議中、俵野川：約39% - 護岸工発注予定、佐濃谷川：約15% - 浸水対策検討中 「避難対策施設整備事業」 管内6箇所の測量・調査・設計着手済（宮津市2・京丹後市2・伊根町2）、対策工の詳細設計完了。新宮谷川土石流対策 ダム工着手</p>
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	<p>防災関係機関の連携を強化するとともに、監視カメラの増設、土砂災害監視システムの強化、浸水マップの作成、市町のハザードマップ作成支援、特別警戒水位設定の追加などを行います。併せて、市町が行う防災パトロールの充実・強化に向けた支援を行い、府民に対する危険箇所の周知や緊急時の危機管理体制を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別警戒水位設定河川：野田川、竹野川、佐濃谷川 ・洪水ハザードマップ作成支援河川：京丹後市（宇川）・伊根町（筒川） ・浸水想定区域図の作成：鱒留川、小西川等 ・河川監視カメラの増設：福田川、川上谷川等 	<p>（特別警戒水位設定） 大手川・野田川・竹野川・福田川・佐濃谷川・川上谷川・宇川の7河川で設定済。筒川は平成20年度の設定を目指して作業中 （洪水ハザードマップ作成支援） 大手川・野田川・竹野川・福田川・佐濃谷川・川上谷川・久美谷川・栃谷川・筒川の9河川は、市町防災マップ等に記載、住民周知済 （浸水想定区域図作成） 竹野川支川の鱒留川・小西川・溝谷川及び野田川支川の香河川・岩屋川・加悦奥川発注済、現在作成中（完了後、市町へ情報提供） （河川監視カメラの増設） 新たに竹野川・川上谷川・福田川・佐濃谷川で設置済</p>
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった
取組及び達成状況	<p>山地災害危険地区見直し作業により緊急度の高い危険地の把握を行い、山地災害危険地区をホームページ等で公表して府民へ危険箇所の周知を行います。</p>	<p>山地災害危険地区の見直し作業を実施して緊急度高い危険地を把握するとともに、危険地区の情報をパンフレット及びインターネットで府民に提供 【 で終了】</p>
運営目標	評価	× ：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった

取組及び 達成状況	20名の子育て地域パートナーを新たに養成し、管内市町とパートナーの連携を深める検討会議、研修会などにより、既に養成したパートナーを含めたネットワークづくりを行います。		10月～11月に5日間の講座開催、7名の子育て地域パートナーを養成 <パートナー総数40名> 既養成パートナーとの交流(10月実施)を深めるとともに、パートナー主体の育児支援サークルに対して情報提供等支援 管内市町と子育て地域パートナーの連携を深めるために、パートナーに対して活動状況のアンケートを実施 【で終了】
運営目標 取組及び 達成状況	評価	: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった	児童虐待については、専任職員を中心に児童相談所、市町のネットワークを強化・充実し、未然防止事業としてのカウンセリングを継続して実施します。 ・未然防止事業(子育てサポートカウンセリング、丹後子どもの心のケア相談室)の広報活動年2回以上ほか 保健所専任職員が児童相談所の定例会議へ出席、管内案件の掌握と市町等と密接な連携体制を構築 ・法定協議会(要保護児童対策地域協議会)宮津市・京丹後市で設置 ・市の虐待案件対応会議等への出席、法定協議会未設置の町に対するネットワークの強化等による未然防止 未然防止事業(子育てサポートカウンセリング、丹後子どもの心のケア相談室を各々月2回実施)の広報啓発(ホームページ掲載、隔月発行の保健所だよりへの掲載(6回))
運営目標 取組及び 達成状況	評価	× : 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった	安心安全な地域医療体制の構築に向けた取組を充実します。 ・小児科医師と他科医師の協力体制推進のための連絡会議を開催してマニュアルの見直し ・適切な小児救急医療受診を進めるために乳幼児健診等での衛生教育等のあり方を検討する母子保健関係者の協議の場を新たに設定 「小児科患者対応マニュアル」を昨年度執筆した小児科医師と19年度の取組を検討。マニュアルの見直しは、管内小児科医師の異動等の動向を踏まえ、次年度以降に実施 7月に母子保健担当者会議を開催、小児医療の現状の情報提供と親向けのマニュアルの作成、受診する子供の親の意識向上のための機会設定等を協議し、次年度以降の実施に向けて親向けのマニュアル原案を作成 「京都府保健医療計画」の見直しに伴い、「丹後地域保健医療協議会」を立ち上げ、圏域内の保健医療関係者と協議会を5回開催 丹後圏域の医療提供状況等を整理し、4疾患5事業を中心に医療連携体制のあり方について協議し、圏域としての対策の方向を確認 医師確保に向けて、府施策に準ずる奨学金制度を2市1町で施策化
運営目標 取組及び 達成状況	評価	: 目標を上回って達成 : 概ね目標を達成した × : 目標を十分達成できなかった	丹後高齢者・はつらつ悠々事業を継続実施し、高齢者等の主体的活動の支援強化を目指して、高齢者を地域で支えるモデル事業を2地区で実施します。 ・要介護の主要因「転倒」の予防に視点を置き、おたっしや体操の普及をツールとして住民による転倒予防アドバイザー等を50名新たに養成し、活動を支援 お達者丹後モデル地区事業を2地区(宮津市由良、与謝野町加悦奥地区)で実施、関係市町、関係機関との連携による介護予防力のある地域づくりを推進 地域活動の世話役に対するプロモーター研修を11月に実施 由良: サロンの世話役及び市・社協と地域交流の促進に資する「軒下サロンづくり」として長椅子を作成する他、サロン参加

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のはつらつ活動の収集と情報発信を市町等と協働で実施。はつらつ悠々シンポジウムの開催2回 	<p>者の力を発揮するため、SKYフェスティバルでの舞台発表を実施 加悦奥：自治会、自主グループ、町と「サポートかやおく」を立ち上げ、災害時にも活用できる「安心見守りマップ」を作成 与謝野町による地域支援事業の活用等、次年度以降の地域力発揮に向けた動きが前進</p> <p>転ばぬ先の丹後推進事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月に「転倒予防アドバイザー養成講座」開催、60名のアドバイザー養成<アドバイザー総数211名> ・おたっしや体操DVDの貸出開始、おたっしや体操新バージョンの考案等により転倒予防体操の地域へ普及し、更に転倒予防を推進。「たんごお家点検隊」が20年2月に京丹後市内18名の居宅を調査し、普及啓発の為に媒体を作成 <p>丹後はつらつ悠々フォーラム開催、ホームページ等の広報等の充実</p> <p>「丹後はつらつ悠々フォーラム」を市町と共催し、お達者丹後モデル地区等の活動や転倒予防体操等を紹介 第1回：12月 野田川わーくぱる（189名参加）、第2回：3月 宮津会館（第2回はSKYフェスティバルとの共催）</p>
運営目標	評価	<p>：目標を上回って達成</p> <p>：概ね目標を達成した</p> <p>×：目標を十分達成できなかった</p>	
取組及び達成状況		<p>認知症対策の取組を実施し、地域支援体制を充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関わる情報等を収集・整理し、提供できる体制を構築するとともに、市町と協働して認知症のサポーターを養成するキャラバンメイトを20名養成 	<p>「認知症対策に関わる会議」を開催し市町と保健所が協働してキャラバン・メイト（「認知症サポーター」（認知症の人や家族を見守り支援する人）を育成する人）を養成することを確認、10月にキャラバン・メイト養成研修会を開催し76名養成、府主催の研修会で管内行政職員がキャラバン・メイトに12名登録<キャラバンメイト総数88名></p> <p>行政、介護保険事業所、医療機関等の職員及びキャラバン・メイト等により、具体的な取組や連携体制を推進するための認知症ケアネットワーク研修を11月に実施（参加者75名）キャラバン・メイト等によるサポーター養成を市町とともに支援</p> <p>認知症に関する実態調査（家族等へのアンケート・ヒアリング）を府・京丹後市で実施</p> <p>平成20年からの認知症地域支援体制構築等推進モデル事業の実施に向けて、京丹後市と実施体制等を協議</p>
運営目標	評価	<p>：目標を上回って達成</p> <p>：概ね目標を達成した</p> <p>×：目標を十分達成できなかった</p>	
取組及び達成状況		<p>自然、歴史、産業などに培われてきた丹後独自の地域文化を振興し、国民文化祭に向けた気運を醸成していくため、次世代（小学生～高校生）への質の高い体験の場など、地域の特性を活かした個性あふれる取組を支援します。</p>	<p>管内市町と団体が共同して取り組む次世代体験型の事業や地域独自の取組に対して助成し、国民文化祭の開催に向けて府民に対する気運を高揚<2事業 合唱（京丹後市） 俳句（与謝野町）></p>

<p>運営目標</p> <p>取組及び達成状況</p>	<p>評価</p>	<p>：目標を上回って達成</p> <p>：概ね目標を達成した</p> <p>×：目標を十分達成できなかった</p>	<p>地域の環境改善や地域での環境保全等の取組を実施し、環境に優しい地域づくりを進めます。</p> <p>阿蘇海及び天橋立の環境改善及び環境保全等</p> <p><阿蘇海の環境づくり協働事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 阿蘇海に隣接する地元住民・団体・行政及び学識経験者で構成する「阿蘇海環境づくり協働会議（仮称）」を設置し、住民への啓発など、地域一体となった阿蘇海の環境改善及び環境保全の取組を実施 <p><天橋立世界遺産登録可能性検討調査></p> <ul style="list-style-type: none"> 企画環境部とともに、「天橋立世界遺産登録可能性検討委員会（仮称）」を立ち上げ、世界遺産登録の可能性について調査・検討し、9月中の世界遺産暫定一覧表記載資産候補として文化庁への提案を行います。 <p><天橋立公園の松並木の保全・利活用の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> 天橋立継承準備委員会を継続運営し、府民協働体制の構築に向けた取組を実施 松林保全作業の本格化、ボランティアと官民協働作業のシステム化、地域や子ども達への学習会の開催や情報提供などによる天橋立の価値の発掘、共有、情報発信 <p><天橋立周辺地域での景観計画の取組の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> 天橋立周辺地域の景観を活かしたまちづくりを市町及び地元、関係団体とともに協働して検討し、景観法に基づく天橋立周辺景観計画案を年度内に策定 <p><丹後天橋立大江山国定公園（仮称）の新規指定></p> <ul style="list-style-type: none"> 丹後半島から大江山に至る自然公園の新規指定への準備（平成19年7月指定目標）と関係市町長で組織する連絡協議会による要望活動・共催イベントや指定のPRの実施や施設整備基本計画の策定に着手
<p>運営目標</p> <p>取組及び</p>	<p>評価</p>	<p>：目標を上回って達成</p> <p>：概ね目標を達成した</p> <p>×：目標を十分達成できなかった</p>	<p>「丹後海と星の見える丘公園」の利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 丹後海と星の見える丘公園利活用連絡会議を年4回以上開催し、 <p>丹後海と星の見える丘公園利活用連絡会議3回開催、その他、校園長会や各地域の校長会等を通じて、情報の発信、連携を強化</p>

達成状況	管内の関係機関や関連施設との連携を強化。各種の施設整備と情報発信を強化して、年間利用者50,000人を目標		・年間利用者 44,316人、環境教育プログラム参加者 5,618人
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった	
取組及び達成状況	丹後モデルフォレストの推進 ・モデルフォレスト地域協議会の開催（2回） ・ホームページ等を活用した啓発、ワークショップの開催等（3回） ・森林利用保全重点区域の指定（1箇所）と保全計画の策定及び府民ぐるみの森林整備の実施（2回）など		地域協議会を1回開催し、活動方針等を協議 ホームページ「丹後発森の案内板」により情報提供するとともに、「森づくりフォーラム」等のワークショップを2回開催 重点区域指定に向けた説明会の開催と企業ボランティアによる森林整備を2回実施
運営目標	評価	：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった	
取組及び達成状況	野生鳥獣被害対策の充実 野生動物の生息状況や農山村の被害状況を継続的に調査し、野生動物と人との共生を目的に、市町と連携を図りながら、野生動物の生息環境の保全・整備や個体数の調整を実施 ・モデル地区の設定と「人と野生鳥獣の共生の村づくり事業」1箇所実施 ・モデル地区の現地調査及び事業評価 ・ワークショップ、研修会の開催（10回） など		モデル地区を設定して地域住民と共に事業計画を作成し、バッファゾーン造成等の共生の村づくり事業を実施 平成17年度、18年度完了のモデル地区において効果調査を実施 鳥獣対策ワークショップや研修会を12回開催 捕獲の担い手確保のため狩猟免許取得のPRと講習会の開催を支援し、新規に94名が免許取得。「狩猟技術講習会」開催により狩猟者を育成
運営目標	評価	× ：目標を上回って達成 ：概ね目標を達成した ×：目標を十分達成できなかった	
取組及び達成状況	「京都府間伐推進計画」に基づく間伐等森林整備の推進 ・目標間伐実施面積 500ha（17年度357ha、18年度見込み261ha） ・目標利用間伐量 2,300m ³ （17年度1,069m ³ ）		間伐推進のための地元説明会やチラシ配布により普及啓発を実施 間伐実施面積 334ha（見込）、利用間伐量 集計中